

科目名	健康生活看護学(母性概論)			ナンバリング	PEN331	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	久米美代子	担当教員	久米美代子				

授業の概要	女性の性や健康、女性の環境について生物学的・心理学的・および社会的観点から総合的に理解する。セクシャリティ、リプロダクティブ・ヘルズ/ライツの概念を理解し、そのうえで女性の生涯を通じた健康保持増進と、次世代の子どもを健やかに育成するための母性機能の健全な発達を促す母性看護が果たす役割と課題について理解する。また、日本における母子保健にかかわる施策・法律を理解したうえで、母子保健の国際化についても理解する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 生涯を通じた女性の健康のための母性看護の役割についてリプロダクティブ・ヘルズ/ライツの視点で説明することができる 母子保健統計から日本や諸外国の母子保健の動向の問題点を述べるができる 日本の母子保健施策や法律と子どもを産み育てる環境を看護の視点から捉え、現状の課題を述べるができる 母性機能の健全なあり方と女性の健康をウエルネス思考に基づき、理解することができる 女性をとりまく環境と女性の健康とのかかわりを理解し、健康管理・メンタルヘルスについて説明できる 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義で示されるスライドの内容や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目標にして学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
		3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	○	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> 生涯を通じた女性の健康のための母性看護の役割についてリプロダクティブ・ヘルズ/ライツの視点で説明できる 母子保健統計から日本や諸外国の母子保健の動向の問題点を説明できる 日本の母子保健施策や法律と子どもを産み育てる環境を看護の視点から捉え、現状の課題を説明できる 母性機能の健全なあり方と女性の健康をウエルネス思考に基づき、理解できる 女性をとりまく環境と女性の健康とのかかわりを理解し、健康管理・メンタルヘルスについて説明できる 	<ol style="list-style-type: none"> 生涯を通じた女性の健康のための母性看護の役割について文献を活用し、リプロダクティブ・ヘルズ/ライツの視点で説明することができる 母子保健統計から日本や諸外国の母子保健の動向の問題点を根拠に基づき説明できる 日本の母子保健施策や法律と子どもを産み育てる環境を看護の視点から捉え、現状の課題について自分の考えを説明できる 母性機能の健全なあり方と女性の健康をウエルネス思考に基づき理解し、健康増進のための工夫について考えられる 女性をとりまく環境と女性の健康とのかかわりを理解し、健康管理・メンタルヘルスについて説明でき、母性看護の役割について考えられる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○						加点はしない 減点となることがある
宿題・授業外レポート	○	○					40%
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしない 減点となることがある

課題、評価のフィードバック	期末試験解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス 母性看護の基盤となる概念 メンタルヘルス	生涯を通じた女性の健康のための母性看護の役割についてリプロダクティブ・ヘルツ/ライツの視点で解説する	
	第2回	母性看護に関する組織・制度・法律 母子保健統計からみた動向	母子保健統計から日本や諸外国の母子保健の動向の問題点を解説する 日本の母子保健施策や法律と子どもを産み育てる環境を看護の視点から捉え、現状の課題について解説する	
	第3回	妊娠の成立と性ホルモンの心理的影響 家族計画と避妊	妊娠の成立、および性ホルモンの心理的影響について解説する 家族計画や避妊のメカニズム・避妊方法などを解説する	
	第4回	ウェルネス思考に基づく看護過程	健康生活看護学(母性概論)におけるウェルネス思考について解説する	
	第5回	女性の健康と環境① グループワーク	下記の4つのテーマに関する情報を適切に収集することができる	
	第6回	女性の健康と環境② グループワーク	1)女性には母性があるのか 2)女性はだれでも妊娠できるのか	
	第7回	女性の健康と環境③ グループワーク	3)女性はいつまで子供を産めるのか 4)性ホルモンと心の動きとの関係	
	第8回	グループワークの発表	女性をとりまく環境と女性の健康とのかかわりを理解し、健康管理・メンタルヘルスについて説明できる 女性の生涯を通じた健康と保持増進を、母性看護の視点から述べる事ができる	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	期末試験を実施する。試験範囲は全範囲とする。		
授業の進め方	第1回から第4回までは講義と質疑応答とする。第5回から第7回はグループワークとし、テーマにそって話し合いを行い、第8回はグループワークの発表と質疑応答とする。第1回から第4回までは確認小テストを実施する。			
授業外学習の指示	授業前に妊娠出産、子育てに関する情報を集めること。配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問する。次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、理解しておく。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	横尾京子他(2017):ナースングラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本. 大阪府. 株式会社メディカ出版. 森恵美他(2016):系統看護学講座 母性看護学 I 母性看護学概論. 東京都. 株式会社医学書院. 久米美代子・堀口文編著(2012):マタニティサイクルとメンタルヘルス. 東京. 医歯薬出版株式会社.
参考書	講義内で適宜、紹介することがある
参考URLなど	特になし
その他	特になし